

知恵が拓く ビジネス新展開

～ 創意工夫とアイデアで価値創出～

中小企業を取り巻く環境は厳しさを増している。そんな中でも、自社の強みにいち早く気づき、さらに既存の技術やデザインを加えて、顧客ニーズにかなう商品・サービスを提供、売上げを伸ばしているところも少なくない。今回は、知恵を生かして新たな価値創造にチャレンジする京都企業をいくつか紹介し、百年に一度といわれる難局を乗り切るヒントを探りたい。

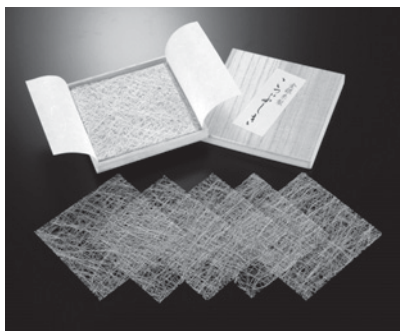
既存商品+知恵=

需要拡大

堀金箔粉

企業名 堀金箔粉株式会社
所在地 京都市中京区御池通御幸町東入大文字町356
TEL 075-231-5357
URL <http://www.horikin.co.jp>
代表 堀 智行

事業内容 各種金属箔粉の製造及び販売



金銀糸を固めたコースター(商品名 こっぶしぎ)

**商品の新たな使い道を提案し
潜在需要を掘り起こす**

身近な商品開発で
金属箔粉の魅力を家庭に届ける

一七二二年の創業以来、金属箔粉の製造・販売一筋に三百年の歴史を重ねてきた。きらびやかで美しい金箔・金粉は、和装品や陶漆器、絵画、仏壇仏具など京都の伝統的なモノづくりに欠かせない素材だ。しかし、伝統産業を取り巻く環境は厳しく、金属箔粉の市場は減少傾向にあるという。「勝ち残っていくためには、新たな需要を掘り起こしていく必要があります」と堀智行社長。金箔は、その用途・目的によって、使用する金の純度や規格が細かく決められている。

商品そのものの差別化が難しいのなら、金箔や金粉の新たな使い道を発信して付加価値を高めよう…。今から七年ほど前に開発したのが、細かな金箔を散りばめた家

庭用入浴剤と、特殊な技術で金銀糸を編み込んだコースター。「金箔や金糸を身近で使ってもらおう楽しさを伝えたいからです」と堀さん。ゴージャスで幸せな気分が家庭で味わえると評判で、これまで金属箔粉に関心の薄かったエンドユーザーからも注目を集めたという。

**自社の強みを異業種との
コラボレーションで生かす**

「うちの強みの一つは、取引先のすそ野の広さ」。この強みを異業種とのコラボレーションという形で生かし、オンラインの新品開発につなげている。例えば、製紙会社や印刷、文具メーカーなどと協力して生まれたのが金壁ファイル。クリアファイルの表面に俵屋宗達の「風神雷神図」などの絵を、裏面に金箔風の柄模様を転写したもので、まるで本物の屏風絵のようなリアリティが魅力。従来の京都土産などでは飽き足りない観光客に好評で、シリーズ化を進めているという。そのほか、化粧品メーカーと共に開発した純度九十九%の純金エステセット、食品需要にも早くから注目し、日本酒やケーキなどにトッピングする食用金箔の開発にも力を注いでいる。金属箔粉という事業の本質は変えずに、「これは面白い!」と唸るような使い方や楽しみ方を提供することで、新たな需要拡大につながった好事例だらう。

既存技術+知恵=
新規顧客創造

クロスエフェクト

企業名 株式会社クロスエフェクト
所在地 京都市伏見区竹田薬屋町43
TEL 075-622-2600
URL http://www.xeffect.com/
代表 竹田 正俊

事業内容
プロダクトデザイン及び樹脂筐体設計、
3Dスキャニング・モデリング、光造形によ
る3D開発試作など



光造形技術で精巧に作られた模型(蜂)

争う商品
開発の現
場から注目
が集まり、
全国から注
文が無い込
んでいくと
いう。

光造形の活用で世界最速の
開発支援企業をめざす
商品のライフサイクルがますます短
くなるなか、モノづくり企業にとって、
完成度の高い商品をいかに短期間で
効率よく開発できるかが、これからの
経営を左右する重要なポイントと
なる。「私たちは、時間」という付加
価値を提供しています」と話すのは
竹田正俊社長。

同社のコアコンピタンスとなっている
のが「光造形(ラビッド・プロト・タ
イピング)」という超高速の三次元試
作技術。紫外線を当てると硬化する
特殊樹脂にレーザー光線を照射し、
〇・ミリ単位で樹脂を積層造形し
ていくという方法で、従来の切削モ
デルでは難しかった複雑な形状でも容
易に試作できる。鳥かこの中の鳥を、
かごと一体化して作ることも可能とい
う。納期も従来の三分の一から半分
まで短縮できた。こうした技術を生
かし、注文から試作まで二十四時間
以内で完結する新サービス「光造形
の世界最速便」を開始した。一刻を

時間をキーワードにした
付加サービスで試作業界の常識に挑戦

争う商品
開発の現
場から注目
が集まり、
全国から注
文が無い込
んでいくと
いう。

「時間」に特化したサービスを提供す
るために、既存技術にあぐらをか
いてはいけなさと考えています。ど
んどん新しいことに挑戦して価値を
高めていきたい」と意欲を示す。

「決して光造形という技術にこだ
わっているわけではありません」と
竹田さん。「私たちの目的は、顧客創
造。その二つのキーワードが時間であ
り、光造形はそれを具現化する手段
に過ぎません」。顧客のすそ野をより
広げるために、ウェブによる試作受
注にも本格的に取り組んでいる。パソ
コンの扱いが不慣れな人でも、プルダ
ウンメニューに従って入力すれば発注
が完了するなどユーザビリティに配慮
しているのが特長で、きっちりとした
図面がなくても、個条書きのような
ものからでも試作するという。中東
やアジア諸国からのアクセスが増え、
顧客は全世界に広がっている。

「時間に特化したサービスを提供す
るために、既存技術にあぐらをか
いてはいけなさと考えています。ど
んどん新しいことに挑戦して価値を
高めていきたい」と意欲を示す。



同社のホームページは、京都商工会議所主催の
「中小企業のためのホームページコンテスト京都
2008」で最優秀賞に輝いた。

既存商品+知恵=
新商品開発

京都塗料商業協同組合

組合名 京都塗料商業協同組合
所在地 京都市右京区西院月双町13-2
TEL 075-314-5020
URL http://www.kyoto-paint.com/
代表 中西 隆行(理事長)

事業内容
組合員に対する経営指導・
情報提供、塗料普及活動、
資材等の共同購入、福利
厚生など



顧客視点で作成した色見本帳「ハウスカラーベストセレクション」

「誰もが分かりやすい色を提案した
いと考えました」と話すのは中西隆行
理事長。今から二年ほど前、日本塗
料商業組合近畿ブロック(京都塗料
商業協同組合の上部団体)に所属
する塗料販売店が中心となり、最も
汎用性の高いカラー三十色を特別に

顧客視点で町並みに合う
カラーをセレクト
例えば、ベンガラ格子のあの艶や
かで深みのある柿渋の色。もし、自
宅の外壁や内装を京町家のように美
しく染めたいという顧客ニーズがあっ
たとき、何色だと答えればいいのか
うか…。建築物やインテリアなどで
使われる塗料用の色サンプル冊子は
たくさん発行されているが、白色
一つ選ぶにしても、同じような色
が何種類も用意されているため、一
般ユーザーにとってはかえって判断しづ
らいう面があるという。

親しみやすさの追求で市場の関心を
高めてビジネスチャンス拡大

そのほか、同組合では、太陽光の
吸収を抑えて、室内温度の上昇を防
ぐ「遮熱塗料」の普及にも積極的
に取り組んでいる。どちらかと言え
ば、一般ユーザーにとってあまり馴染
みのない塗料業界だが、CO₂削減を
はじめとする環境への対応をアピ
ルすることで、より多くの顧客に関
心を持ってもらうと考えている。「親
しみやすさ、分かりやすさを追求す
ることで、ビジネスチャンスを広げ
たい」と話す。

「社会ニーズに応え
新たな付加価値を創出
見本帳では「桜ねず色」や「白琥珀」
など色のネーミングにもこだわり、
たとえば「日本の秋を感じさせ、ふ
るさと思わせませす(山吹茶色)」と
いうように、顧客にイメージしてもら
いやすいコメントを添えた。最近、建
物の外装色やデザインを統一し、景観
保全を進めようという動きが活発化
しつつあるが、「社会的なニーズに
応えることで、新たな付加価値の創
出につなげたい」と中西さんは期待を
込める。

セレクト。これまでにないユニークな見
本帳「ハウスカラーベストセレクシ
ョン」を制作した。色彩の選択にあ
たっては顧客視点を大切にし、住
まいの建て替えや塗り替えの際に
どんな色を使ってみたいかなど、さ
まざまな施主から聞き取り調査
を行ったという。

家紋の価値を磨き上げ 伝統から和モダンへのブランディング



人気商品の一つシルクサテンスカーフ

生活文化の中にある 家紋の意味を見直す

もともと、テキスタイルデザイナーとして海外向け商品のデザインを担当していたという山倉かずみさん。和装関連の仕事を手がけるようになって、あらためて家紋を目にしたとき、「その図柄は変化に富み、精神性が込められていることを知りました」と話す。例えば、「桜紋」はただ美しいだけでなく、武士道に代表される散りぎわの潔さを表している。また、「かたびみ紋」は子孫繁栄の願いが込められている。

既存資源に知恵をプラスして 魅力を生み出す

既存の家紋をそのままデザインとして流用するだけでは、何の付加価値も生まれない。山倉さんは、デザインとしての家紋の魅力を損なわず、そこにカッコよさや面白さ、ユニークさを盛り込むことで、ファッション性を高めようと考えた。テキスタイル出身だけに「先入観にとらわれなかった」と振り返る。例えば、同店の人気商品の一つ、シルクサテンスカーフ。複雑な模様の家紋ばかり並べると重たく見えるので、「石持ち」と呼ばれるシンプルな角紋や輪紋を巧みにデザインした。また、パープルやピンク、ブルーといった流行カラーを配色することで、お洒落なカジュアルラインを開発できたという。



創出している。

現在、タペストリーやテンプルランナー、トートバッグ、ネクタイ、また印籠の形を模したポーチなど、家紋をアレンジしたアイテムを二十六種類用意する。デザインだけでなく、機能性や使い勝手にもこだわっているのが特長で、「自分だけのオリジナル品を持ちたい」と考える顧客層を中心に支持が広がっているという。既存資源にプラスαの創意工夫を加えることによって、新たな魅力を



知恵ビジネスの核となる 泉を見出す

取材の中で、興味深い話を聞いた。このご時勢、顧客からの注文が殺到し、儲かって仕方のない部品メーカーがあるという。それは、なぜか？ 答えは簡単。不況で廃業する企業が増え、競合相手が減ったためだ。もし本当にそうなら、いま経営が順調だからと言って、決して安閑とはしてられないだろう。その部品メーカーは、干上がりつつある池や沼の、たまたま一番底にいただけかもしれないのだから…。雨が降らなければ干上がってしまうようなお天道様任せのビジネスでは、ますます激化していく市場競争の中で勝ち残っていくことは難しい。

ざ同社を選ぶのである。また、堀金箔粉の堀さんは、金箔に新たな用途を付加して顧客の支持を広げた。金に対する憧れは多くの人が持っている。そうしたイメージを大切にしながら、誰もが手軽に使える商品開発を行ったことが成功に結びついた。顧客創造、既存商品（デザイン）の有効活用、現代ニーズを取り入れたモノづくり…。表現の方法はいろいろだが、そこには必ず「なるほど」と思わせる、知恵が見え隠れしていることが分かるだろう。

雨が降らなければ、どうすれば干上がらずにすむのか、知恵を絞って考えなければならぬ。繰り返しになるが、そのヒントは自社の「コアコンピタンス」や目の前にある資源の中に埋もれている。桃李言わずして下自ら蹊を成すという。冷たくておいしい清水が池の底から湧き出していれば、顧客は深山端山を踏み分けてでも集まってくるものだ。ぜひ、自社の知恵ビジネス、知恵経営の核となる泉を見つけていただきたいと思う。

※「桃李言わずして下自ら蹊を成す」…司馬遷「史記（桃李軍伝）」より引用。桃やすももは何も言わなくても美しい花や瑞々しい果実を求めて、たくさんの人が寄り集まってくる。

洛西支部

京都府印刷工業組合

レディースオリーブ会
経営品質の向上や人生設計について講演



京都府印刷工業組合（吉川宣治理事長）では、一月二十四日（土）、レディースオリーブ会の第十六回新年総会を京都国際ホテルにて開催した。

同会は、京都府印刷工業組合に加入している事業所またはそれに準ずる女性経営者、経営者夫人で構成されており、

現在会員数は二十七名。健全な親睦を通じて互いに啓発し、企業・業界・社会生活の発展のために役立つことを目的としており、今年度も数回の例会、研修・勉強会を開催し、自己を磨き親睦を深めてきた。

新年総会として開催した今回は、ふわふわスペース研究所代表取締役の森山祐輔氏を講師に招き、「私とわくわく百二十歳人生設計」をテーマに講演会を開催。経営品質を向上するためのプログラムとして「顧客本意でエクセレントな業績向上」「独自能力性」「従業員の尊重」「社会との調和」「自己変革能力の向上」などの視点からわかりやすく講義した。さらに、年齢を重ねても志高く、社会貢献の必要性を唱えることや、生き方のシニールを残すことが大切であることを強調した。

さらに、「元気でわくわく人生」を送るために、科学的根拠をもとにした具体的な食の提案など、数々のヒントを講義。出席者からは「社会とのつながりの大切さと、人生設計を考えさせられる話だった」との意見も聞かれ、充実した講演会となった。

洛央支部

京都府燃絛工業協同組合

伝統産業の更なる発展を目指し、
組合設立六十周年記念式典を開催

京都府燃絛工業協同組合（坂田憲男理事長）では、昭和二十三年十二月の旧商工協同組合法に基づく創立から六十年を迎え、この度、伝統産業の房燃絛業界の振興に向けて、二月二十六日（木）、京都プライトンホテルにおいて、組合設立六十周年記念式典ならびに祝宴を開催した。

記念式典では、坂田理事長の式辞のあと、功労のあった役員に対して京都府知事表彰および京都市長表彰が授与されるとともに、永年勤続優良従業員には京都府知事表彰が授与され、受賞者代表より謝辞が述べられた。

次いで、来賓を代表して、京都府、京都市及び本所から祝辞があり、参加者は、伝統産業を取り巻く社会・経済環境が厳しさを増すなか、伝統ある技術の伝承と新しいものに挑戦していく意欲をもって、京都の伝統産業の振興に向けて決意を新たにしました。

そして、記念式典に引き続き祝宴が挙行され、(財)伝統的工芸品産業振興協会の渡邊隆夫会長の祝辞があった後、京の伝統産業春秋会の河村和子会長の乾杯の発声のもと宴が始まり、和やかな雰囲気の中に、祝宴のひとつを過ぎました。



本部

木屋町共栄会

安心安全と地域マップの集客効果で
木屋町の魅力を高める



木屋町共栄会（塩山大介会長）は平成十七年、木屋町界隈にぎわいのある街として一度つくり直していこうと、地元民の意志と意見をもとに結成した。地域と経営者が声を掛け合い、界隈の回遊性の向上による来訪者の流入増加や、まちの美化を推進するほか、地

域経済の地盤沈下に関する問題などを話し合うことで、地域を基礎からつくり直していこうと活動している。平成二十年度には、結成当初より提案のあった「防犯カメラ設置」に向けて活動。京都府、京都市の補助金を活用し、二月に木屋町通の三条・四条間に十七基の防犯カメラを設置した。来訪者が安全・安心を感じられる地域として、より多くの人々の流入を引き起こし、商業地域の基盤安定を図るきっかけづくりをしたいと考えている。

また十月には「意欲的商業者グループ支援事業」として『ヴィヴ・ヴィー・木屋町』の活動に取り組み、地域マップ『木屋町絵図』を作成。多様性に富んだ深みのある地域誌として、愛される地域づくりへの活用や、集客効果による地域活性化、各店舗の売上向上を目指している。

平成二十一年度はかつて木屋町地区内に存在した五つの舟入の石標建立を計画しており、同会では「二人でも多くのお客さまを美しい景観で迎えたい」と活動を続けている。

洛北支部

京都漆器工芸協同組合青年会

二〇〇九うるおい漆展
「作り手の思いを使い手へ」

京都漆器工芸協同組合青年会（櫻井勇志会長）は、二〇〇九うるおい漆展を、三月二十日（金・祝）と二十一日（日）の三日間、京都市勧業館みやこめっせで開催した。

四十五歳以下の若手職人に出品資格が与えられているこの展示会では、今年のテーマを《いまの、うるしスタイル》と設定。地域産業資源として保護・育成・振興が望まれている漆という伝統工芸が、グローバル化、多様化するライフスタイルのなかで受け入れられ、さらに使用されることをめざして、生活に密着した多数の作品が出品された。

お椀やお盆などの漆器に代表されるように、元来、漆は一般的な家庭で日用品として使用されてきたものの、歴史的に漆が貴重であったため、高価だという先入観から代替品にそのシェアを奪われている。同組合では、そうした漆に対する誤解や間違った先入観を解くため、種々の機会を捉えてユーザーとの対話に努めている。



同組合青年会が主催する本展においても、一昨年度から会員以外の一般公募による出展もひろく受け入れており、青年会の櫻井会長は「他産地製品には見られない内面的な深い味わいを備えた伝統ある京漆器を現代生活に融合させながら継承・発展させたい」と今後の抱負を語った。

本部

京都山科観光プロジェクト実行委員会

平成二十年度の成果として
「en」新作発表会を開催

山科地域経済懇話会の活動の一環として平成十九年度に組織された京都山科観光プロジェクト実行委員会では、これまで本所の支援を受けて、京都山科観光プロジェクトを展開してきた。

平成二十年度も、スペースマジックモン代表取締役社長山下順三氏の総合プロデュースのもとで清水焼団地協同組合（小山好弘理事長）と京都伝産仏具工芸協同組合（吉田治弘理事長）が協働し、同プロジェクトとして日本の伝統工芸とデザインが融合したテーブルウェア「en」の開発を行った。



その成果を展示する「新作発表会」を、三月二十七日（金）と二十九日（日）まで、高台寺塔頭月眞院（京都市東山区）を会場に開催し、延べ約百五十名が来場した。新作は陶器製の「八寸丸高台」「さじ」「ピアマグ」や「花器」、京仏具の伝統を踏襲した「八寸角高台」といった製品で、東山山麓の幽玄な雰囲気の中かで鑑賞いただき、入場者は京菓子と抹茶も楽しんだ。今後は、「en」ブランド製品の販売促進を目的に、今回発表した新作も含めて、料亭や物販店等に同製品の無料貸し出しを行なう。

お問合せ

清水焼団地協同組合
TEL 075-500-1908
FAX 075-500-1908
「en」についてはホームページをご覧ください。
URL <http://www.en-kyoto.jp>

洛南支部

吉祥院商店会

元気な笑顔、大きな声で販売体験
— 地元小学校の総合学習に協力

旧西国街道に面した吉祥院商店会（早師洪会長）では、地元の吉祥院小学校の五年生百五名の総合学習に商店会を挙げて協力している。



その環として、昨年十一月には、京鹿の子絞振興協同組合の協力のもと、京都を代表する「京鹿の子絞」の技法を児童が体験し、京鹿の子の風合いを活かして手作業で染めたバンダナを製作。京都の伝統産業の技法に触れるとともに、絞り染めの仕組みについて楽しみながら理解を深めた。

また、三月三日（火）と五日（木）の三日間にわたり実施した同商店会「歳末大売出し」の際には、「販売体験」として、バンダナを頭に巻いた児童が商店会内の十二店舗の店頭立ち、実際に販売にあたった。歳末のお買い得品を求めて多くの買い物客が行き来するなか、児童たちは元気な笑顔と大きな声で商品や店舗を紹介し、商店会を大いに盛り上げた。児童は販売体験を通して、商売の仕組みを理解するとともに、挨拶や言葉遣い、接客姿勢などを学んだ。

同商店会では、人々の生活の変化を見ずえて地域との連携を強めており、今後も「人々と出会い・ふれあえる町に」をキャッチフレーズに、地域の活動に積極的に協力していく。

地域資源を活用して活性化へ！

地域活性化推進委員 下期連絡会議

本所は、地域の中小企業団体の代表に委嘱している地域活性化推進委員の平成二十年下期連絡会議を三月十九日、からすま京都ホテルで開催した。

冒頭、本所中小企業経営相談センターの龍理事・所長から最近の経済不況の下での中小企業支援、とくに金融支援施策の推進について抱負を述べた。

次に近畿経済産業局 創業・経営支援課 長補佐の梁瀬裕弘氏から「地域資源活用による中

小企業者へのアプローチ」と題し、「応援コーディネーター」の役割や中小企業地域資源活用プログラムの内容などについて京都地域の実践事例も含めて解説。各種支援施策の活用をよびかけた。

また京都橋大学教授の織田直文氏から「最近の商業・観光・まちづくりについて」山科地域の取組を事例に」と題し、「産公民学際連携型まちづくり」や山科区地域経済懇話会、山科文化開発プロジェクトなどの事業を説

明。これらの事業によって「目に見える活性化効果」と「目にもえにくい効果」が出ているとまとめられた。



織田教授が事例として紹介した清水焼陶器を活用した灯りイベント「陶灯路」

中小企業者の期待に応える経営支援をめざして

中小企業経営相談センター事業評価委員会

本所中小企業経営相談センターは、三月二十一日、学識者や事業者などの第三者からなる事業評価委員会を開催し、同センターの経営支援事業について評価を受けた。事業の効果や成果、事業手法の妥当性などについて外部の目から検証を受け、より利用しやすい経営支援事業の実現をめざそうというもので、全国の商工会議所では初めての取り組みとなっている。

中小企業経営相談センターで



は評価結果をもとに、今後の事業改善に取り組んでいく。

「洛央支部」を新設

事務局機構改革

本所は四月一日付で、事務局の機構改革を行った。

中小企業経営相談センターでは、地域の事業者への経営支援体制をより強化するため、本所内に新たに「洛央支部」を設置。洛北・洛西・洛南の三支部とあわせて四支部体制とし、市内中心部でのきめ細やかな支援を行う。また本所に「金融担当」を設け、深刻化する中小企業の資金繰りなど緊急課題についても支援を強化する。

冊子「知恵をチカラに」を躍進する企業へ無料配布しています

本所では、「知恵の経営」をレポートしたものです。目指す中小企業の経営のご参考として、「知恵をチカラに」を躍進する企業へを無料配布いたしました。

本冊子は、有形無形の「知恵」を活用し躍進する中小企業にスポットをあて、経営者にご講演いただいた「中小企業活力サロン」と、実際に会社を訪問し、「知恵の経営」の現場を訪問する「中小企業活力見学会」を

レポートしたものです。登場する企業の「知恵」の使い方は各社各様ですが、ご覧になる皆様も、自社の強みを意識し、「知恵の経営」に取り組む契機となるよう工夫を凝らして編集いたしました。

本所中小企業経営相談センターの本部・支部で無料配布しておりますので、自社の経営にお役立てください。



公共機関を騙った不審なFAXや電話にご注意ください

経営セーフティ共済制度に関するご注意

今般、(独)中小企業基盤整備機構が運営する中小企業向け「経営セーフティ共済制度」と関係があると誤信させるようなFAXが中小企業者に送付され、中小企業者が入会金を銀行口座に振り込んでしまうという案件の報告がありました。

不審に思われる電話やFAXなどがありましたら、下記の問い合わせ先にご確認いただきますようお願いいたします。

〈お問合せ〉中小企業庁 経営安定対策室 ☎03-3501-0459
(独)中小企業基盤整備機構 経営安定企画課 ☎03-5470-1540

中小企業庁幹部名等を記載した融資勧誘について

最近、中小企業庁の幹部名及び中小企業庁の所掌事務等を記載した「社団法人日本振興協会」という団体名の融資勧誘等の書類が、中小企業者あてにFAXなどで送られている事案が見受けられています。

経済産業省および中小企業庁においてはこのような団体とは一切関係ございませんので、ご注意ください。

本件について不審に思われる電話やFAXなどについての相談などがありましたら、中小企業庁にご連絡いただきますようお願いいたします。

〈お問合せ〉中小企業庁 長官官房 広報相談室 ☎03-3501-1709/4667



有限会社 川合かつら店

晴れの舞台を輝かせるのが役目なんです

日本舞踊の舞台で用いるかつらのリース専門店として、百五十年ののれんを誇る。かつらを貸し出す前には、「踊りの題目、役柄、踊り手さんの顔や頭のサイズに応じて、一人ひとりかつらを選んでいきます」と話すのは川合貴子さん。ぴったりと合うかつらがないときは、新しく作ることもあるそう。「気がつけば、四千五百種類のかつらが揃っています」。艶やかな藤娘、小粋な元禄若衆、虫入イナセなど、貴重なものも少なくない。最高の材料を使って、職人が丁寧に手作りしたもののばかりだ。これに、先代が収集したという櫛やかんざしなど、差しものを



(左から)川合貴子さん、川合とよ偉さん



組み合わせると、たちまち踊り手の個性に合わせたかつらが出来る。一時間上がる。一時間ひまのかかる仕事ですが、舞台で輝いているお客さまを見ると、心から嬉しくなりますね」と笑顔をこぼす。

昨年には、川合さんの娘さんのとよ偉さんが中心となり、「夢の装いスタジオ・みやこの四季」をオープンした。舞妓やお姫様など憧れの装いで記念写真を撮ってもらえるサービスで、かつら合わせはもちろん、ヘアメイクや着付け、衣装選びなどすべてプロが担当する。遠方でスタジオに来られないというお客さまのために、インターネットで写真を送ればCGで合成してアルバム作成するプランも用意した。「これまでの伝統を生かしながら、新しいことにもチャレンジしたいですね」。川合さん親娘は意欲を見せる。

DATE

日本舞踊の舞台用かつらのリースを行う。かつらの種類、差しものの数とも豊富に取り揃え、お客さまのどんな要望にも応えることができるのが強み。本業を生かした記念写真サービスも好評で、顧客のすそ野を広げている。京都市下京区富小路通高辻上ル筋屋町 154 ☎075-341-0002

専門相談のご案内

小規模事業者の皆様の経営上のご相談に各専門家が適切なアドバイスをします。お気軽にご利用ください。

相談無料

秘密厳守

京都商工会議所 中小企業経営相談センター

本部・洛央支部 ☎075-212-6460
6468
洛南支部 ☎075-701-0349
洛西支部 ☎075-611-7085
洛東支部 ☎075-314-8771

お問合せ

相談分野	時間	相談日	相談場所
法律	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(火)	本部・洛央支部
経営	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(水)	本部・洛央支部
税務	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第2・4(木)	本部・洛央支部
		第1・3(月)	洛北支部
		第2・4(火)	洛西支部
雇用・労務	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第2・4(水)	洛南支部
不動産諸税 資産運用	午後1時～午後5時 受付は午後4時30分まで	第1・2・3・4(金)	本部・洛央支部
店舗デザイン	(事前予約制)	第1・3(木)	本部・洛央支部

店舗デザイン
外装デザイン・看板・ショーウィンドウ・店内スペース・配置計画・商品陳列・照明・色彩・POP各種表示、その他個店の活力アップの方策など。

雇用・労務
雇用に関する助成金制度の紹介をはじめ、労務管理全般に関するアドバイスなど。

経営
財務分析、生産管理、マーケティング、経営革新、情報化など企業経営に関するさまざまな相談。

税務
所得税(事業所得、譲渡所得など)、法人税、消費税、事業承継・相続税、贈与税、事業税、固定資産税、確定申告の仕方など。

法律
契約上や取引上のトラブル・売掛金回収、契約違反・金銭貸借、不動産売買など。その他相続、保証人などの法律問題。

不動産諸税・資産運用
不動産の実勢価額や公的評価を参考に、低金利制度の中で資産価値を高める運用方法など、関連する税制面を踏まえながらアドバイス。



中小企業経営相談センターの ご紹介 あなたの街の本部・支部

伏 伏見区と南区を担当する「洛南支部」は、南部地域の情報発信拠点となるべく、経営支援員6名がみなさまの経営上のご相談に対応しています。

融資や保証協会の保証料割引など金融に関するご相談や、事業承継、経営革新、創業といった事業の展開にかかわるご相談、さらには従業員さまの福利厚生向上のご相談や商店街の活性化のお手伝いなど、中小企業の方々の経営のお手伝いや、きめ細やかな会員サービスの実現を図るため日々対応しています。また、第2・第4水曜日には午後1時から税理士による専門相談を開催していますので、ぜひご利用下さい。

高速道路の開通・延伸や鉄道の新駅開設などますます発展する南部地域の事業者さまのお役に立てるよう支援員がサポートさせていただきますので、お気軽にお問い合わせ、ご相談いただきますようお願い申し上げます。

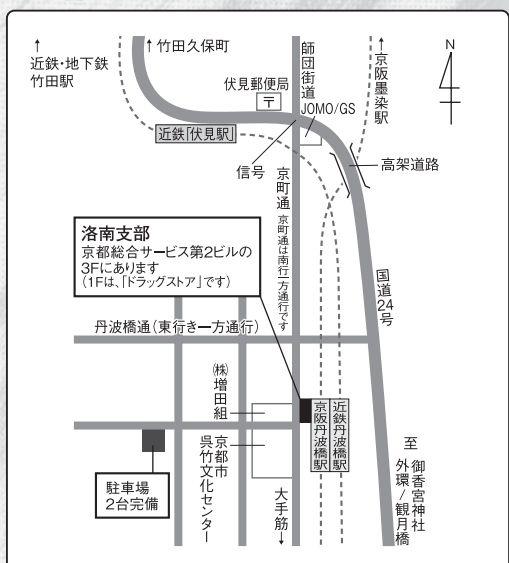


支援員が親切、丁寧にご相談に対応いたします



京阪西口階段を降りてすぐ右側に見える京都総合サービス第2ビル3階

「洛南支部」



【外環状線から】「観月橋」交差点を北上→「御香宮交差点」を通過→高架道路を上がって最初の信号「JOMOカンリンスランド」を左折
 【竹田方面から】国道24号線を伏見向島方面へ→近鉄「伏見駅」を通過→左側に「伏見郵便局」が見えたら次ぎ「信号」を右折（南行き）
 【深草方面から】師団街道を南下→国道24号線を横断して直進

お問合せ 本所中小企業経営相談センター 洛南支部
 ☎075-611-7085

小規模事業者のための 経営改善資金融資制度

マル経 資金融資

無担保・無保証人・低金利（手数料無料）
マル経融資が大幅拡充されました！

- 強化1** 融資限度額が1,500万円に引き上げられました
- 強化1** 融資期間が、運転資金7年、設備資金10年に延長されました
- 強化1** 据置期間が、運転資金1年、設備資金2年に延長されました

融資の条件

- 返済は元金均等月賦返済（残債方式で、利息は毎月減額）
 - 信用保証協会による保証も不要
 - 融資限度額の範囲内で、マル経の借替の利用もOK
 - 返済期間は、設備：10年以内 運転：7年以内（運転資金1年以内、設備資金2年以内の据置も可）
- ※ご相談の内容によっては、ご希望に沿えない場合があります。



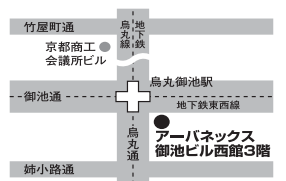
利用の対象

- 従業員数が20人以下（商業・サービス業では5人以下）の事業者の方（ただし、法人役員、家族従業員、パートは除く）
- 従前から商工会議所の経営指導を受けている方
- 所得税・法人税・事業税・住民税を完納している方
- 日本政策金融公庫の融資対象業種の方
- 京都市内で、最近1年以上営業している方

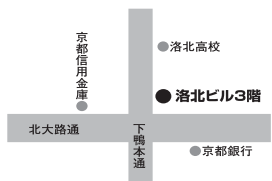
融資限度額
1,500万円
 （設備・運転を併せた限度額）

金利
2.10%
 （平成21年5月7日現在）

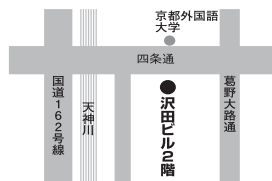
事業所のある行政区の各支部へご相談ください（下記地図参照）



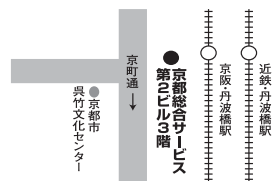
本部・洛央支部（上京区・中京区・下京区・東山区・山科区）
 TEL 075-212-6460・6468
 FAX 075-256-9743
 京都市中京区烏丸御池南東角アーバネックス御池西館3階



洛北支部（北区・左京区）
 TEL 075-701-0349
 FAX 075-791-8505
 左京区下鴨本町12-3 洛北ビル3階



洛西支部（右京区・西京区）
 TEL 075-314-8771
 FAX 075-314-8911
 右京区西院東貝川町5 四条沢田ビル2階



洛南支部（伏見区・南区）
 TEL 075-611-7085
 FAX 075-603-2601
 伏見区京町北7丁目11 京都総合サービス第2ビル3階